

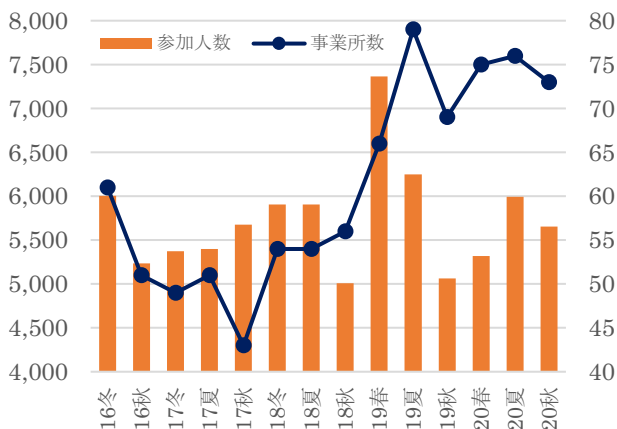
2020年 秋の環境一斉行動週間

2020年9月17日(木)～23日(水)の7日間

集約の結果

1◆◆ 取組の集約 ◆◆◆

事業所数 73 事業所
 取組人数 5,653 人
 Aエコドライブ 26,546 回
 Bエコバック 22,223 回
 C旬の食材 22,274 回



2◆◆ 参加事業所 ◆◆◆ 50音順

有限会社愛光電子
 株式会社アイテック
 株式会社アイパックス★
 アザーレミックス株式会社
 旭松食品株式会社★
 飯田 OIDE 長姫高等学校
 飯田エフエム放送株式会社
 飯田環境センター
 飯田クリーン有限会社
 飯田市スポーツ協会
 有限会社飯田スクリーン工業
 飯田建設株式会社
 飯田合同庁舎
 飯田市★
 飯田信用金庫★
 飯田精密株式会社
 株式会社五十川商店
 稲葉クリーンセンター

イワタニ長野株式会社★
 おひさま進歩エネルギー株式会社★
 勝間田建設株式会社
 鼎みつば保育園
 上郷西保育園
 上久堅保育園
 上村保育園
 有限会社北原土木
 木下建設株式会社★
 協和設備有限会社
 神稲建設株式会社
 シチズン時計マニュファクチャリング株式会社飯田工場★
 下久堅保育園
 信州航空電子株式会社
 高森町役場
 龍江保育園
 竜丘保育園
 株式会社タニガワ
 多摩川パーツマニュファクチャリング株式会社
 多摩川ロジステックス株式会社
 多摩川エアロシステム株式会社
 多摩川精機エレクトロニクス株式会社
 多摩川精機株式会社★
 多摩川テクノクリエイション株式会社
 中部電力パワーグリッド株式会社★
 TDK庄内株式会社飯田工場★
 殿岡保育園
 株式会社中村
 夏目光学株式会社★
 日進精機株式会社
 株式会社NEXAS
 根羽村
 有限会社野中製作所
 原建設株式会社
 有限会社PAPアライ
 有限会社福岡清掃事業所
 松尾東保育園
 株式会社丸宝計器
 三菱電機株式会社中津川製作所★
 株式会社ミナミ
 南信州広域連合飯田広域消防
 南信州広域連合地域医療福祉連携課
 南信州広域連合総務課
 南信州地域振興局農地整備課
 三穂保育園
 有限会社森脇精機
 泰阜村役場
 山京インテック株式会社
 株式会社ヨシカズ飯田工場
 株式会社ヨシカズ殿岡工場
 吉川建設株式会社★
 株式会社龍光電気興業
 龍共印刷株式会社
 和田保育園

★は「地域ぐるみ環境ISO研究会」参加事業所
14 / 24 事業所

(参考)南信州いいむす21登録事業所の参加状況
南信州宣言 4事業所
南信州いいむす 55事業所
計 73事業所

※研究会参加事業所で南信州いいむす21に登録の事業所もあります。

3◆ 取組内容(要請内容) ◆◆

取組み内容は、次のA・B・Cの行動でした。

A エコドライブの実践 (環境にやさしい運転を！)

- ・エコドライブとは、燃料消費量やCO2排出量を減らし、地球温暖化防止につなげる「運転技術」や「心がけ」のことをいいます。また、エコドライブは、交通事故の削減にもつながるといわれています。

B エコバックを利用しよう！

- ・適正温度設定、壁から間隔の確保、冷蔵庫の上にものを置かない、詰め込みすぎない、冷蔵庫にカーテンを設置するなど本格的な夏を迎える前の取組みです

C 地元の旬のものを食べよう！

- ・緑のカーテン・すだれ、よしず、窓ガラス用遮熱フィルム、遮光カーテンなど暑い夏を迎える前の取組みです。エアコンの掃除や室外機の日よけも忘れずに。

4◆ 取組内容(報告内容) ◆◆

一斉行動の取組みを実践するにあたって、「各自で工夫したこと」として報告のあったもの。おおまかに区分してあります。

(順不同・表現の違うものはなるべく紹介)

ご意見

A エコドライブの実践

- ・エコドライブは常に心掛けている。
- ・急の付く運転はしない。
- ・急発進をしないような運転を心掛けている運転時はエアモードにする・アイドリングを少なくした。
- ・タイヤの空気圧確認し車間距離の確保を意識した。

- ・自動車の整備を適切に行い、環境に負荷が掛からないようにしている。
- ・雨でなければ、近所への買い物は、自転車で行くようにしている。
- ・エコドライブ関連、なるべく車には乗らないよう、徒歩 or バイク利用を心がけている。
- ・短距離の移動はバイク、及びEVを利用する。
- ・なるべく自転車を使う。
- ・車の中の荷物を整理しました。なるべくモノを載せない。
- ・通勤に使う車を1Boxから軽自動車に変更した。
- ・エコドライブにKY活動を取り入れ、安全運転にも取り組んだ。
- ・車は毎日乗っているが、安全運転を心がけ、急発進急ブレーキはしないようにしている。
- ・燃費計20km/lを下回らない運転を心がけている。
- ・朝夕は涼しいので、窓を開けて走行し、エアコンは使用しない。
- ・近くのコンビニへは徒歩で行っている。
- ・軽自動車へ乗り換えた。
- ・不要なアイドリングをしないようにした。
- ・駐車中はエンジンを切っている。

B エコバックを利用しよう

- ・車の中に常にいろいろな大きさのエコバックや小袋を入れて、使えるようにしている。
- ・エコバックは常に持ち歩いている。
- ・常にカバンの中にエコバックを入れている。
- ・買い物カゴを利用している。
- ・今は、どこのお店に行ってもレジ袋が有料化されているので普段からエコバックを持つようにしている。
- ・以前から買い物カゴを使用して買い物している。
- ・手作りの布製バックを家族で使用している。
- ・レジ袋が有料になったので、車に常にエコバックを積んでいる。
- ・エコバックの量を増やし、買い物の量にあわせて使っている。
- ・7/1からレジ袋が有料化になったことで、意識的にエコバックを持ち歩くようにした。
- ・海洋ごみの減少、海洋汚染の防止の為に、買い物時ほぼエコバックを使用している。
- ・スーパーへはエコバックを持っていくが、コンビニ

へ入るときは持っていくのをわすれてしまう。

C 地元の旬のものを食べよう

- ・自宅で採れた野菜を食べている。
- ・即売所で買い物している。
- ・1年中地元の旬のものを食べるようにしている。
- ・飯田産の食材の購入を心がけている。
- ・スーパーの地場産コーナーを意識的に利用する。
- ・なし、りんごを食べた。
- ・家庭菜園を20年行っている。
- ・よく使用する野菜は作るようにしている。
- ・地元産の肉・野菜・果実を選んで買った。
- ・無人販売で地元の野菜を購入している。
- ・食品購入時に産地を確認している。
- ・家庭菜園、グリーンカーテンで採れた物を食卓に出した。
- ・保育園で栗拾いを行い、各家庭に持ち帰ってもらう。
- ・収穫祭で栗ご飯を炊いてみんなで食べている。

その他の取り組み

- ・コンビニで余計なスプーン、フォーク、おしぼりをもらわない。
- ・むやみに遠出はしない。
- ・ごみの分別に継続して気を付けている。
- ・食べ残しをしないようにする。
- ・洗剤類を全て石鹼や環境に負荷のかからないものに変えている。
- ・太陽光発電を利用している。
- ・傘を自分で修理している。
- ・畑の草刈は、刈り取った草を敷きならし防草効果を高め、草刈り機の使用を少なくした。
- ・エアコンから扇風機に切り替えた。
- ・モバイルライト、モバイル充電器など、太陽光を利用する機器を使用している。
- ・ごみの分別に気を付けた。
- ・掃除で使用した水を花壇にまいている。
- ・洗えるマスクを繰り返し使用している。
- ・マイ水筒・マイ箸持参した。
- ・連休は、一日にまとめ買いをしてなるべく買い物に行かない様に心掛けた。
- ・瓶・ペットボトル・食品トレー・牛乳パックの回収所へ(リサイクルステーション)出した。
- ・風呂の残り湯で洗濯する。

- ・マイボトルを持ち歩く。
- ・こまめにコンセントを抜く。
- ・生ごみ処理機を使用する。
- ・詰替え商品やリサイクル用品など消費者側の選ぶ意識が重要と考える。

意見

- ・近年、異常気象が多発しています。地球温暖化が原因なのか分からないのですが自分で実践できる環境活動を推進します。
- ・自宅が山間部で車を使わないと買い物もできない。
- ・この取組を機に、エコバックや安全運転を習慣づけていきたい。
- ・「エコバックを利用しよう」は、ポリ袋有料化も絡み取り組みやすい活動だったと思う。
- ・「取り組みカレンダー」は、項目ごとに取り組み内容が記載されていますが、活動回数の内容を間違えてカウントする可能性がある。
- ・カウントの内容を太文字など一目でわかりやすい記載にしたらと思う。
- ・エシカル消費について学ぶことができた。もっと掘り下げて項目にしてみてもどうか。
- ・地元の旬なもの例や、購入できる場所などを詳しく案内してほしい。
- ・もう少し、わかりやすく書いてほしい。
- ・回数を減らしてほしい。自分の仕事があるのでストレスを感じる。